

# 名寄市立大学の窓から知への誘い

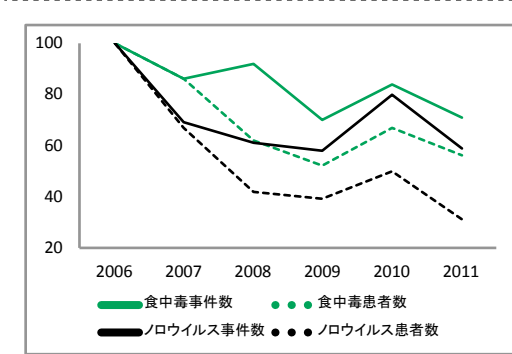
手洗い・消毒でノロウイルス感染を予防しましょう！

保健福祉学部長・教授 寺山和幸

vol.2

20年ほど前までは、食中毒と言えばサルモネラ、ブドウ球菌、腸炎ビブリオなどの細菌によるものが大部分を占め、食品が腐敗しやすい夏季に多発していました。ところが近年、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が冬季に頻発しています。100個程度のノロウイルスが人の体内に侵入すると、1～2日の潜伏期間の後、嘔吐や下痢の症状が現れます。国立感染症研究所は「今冬はノロウイルスに感染している人数が、過去10年で最も流行した2006年に比べペースになっている」と警告しています。

ノロウイルス感染症は、ウイルスを含む生ガキを食べて感染することが多いと言われていますが、そればかりではありません。感染者の便や嘔吐物に含まれるウイルスが感染者の手指からトイレのドアノブや器物を汚染したり、直接他の人に移されて感染する場合もあるのです。ノロウイルスは熱に弱いので、加熱調理をすれば、カキを食べてもノロウイルスに感染することはありません。ただし、調理者の手洗いと使った調理器具の洗浄、必要であれば消毒を行うことが二次汚染による感染の広がりを防ぐこととなります。



09年は新型インフルエンザの世界的大流行があつた年であり、その予防策として外出から帰った時の手洗い、うがいや外出時のマスクの着用が盛んに呼びかけられていました。インフルエンザ予防のための手洗いの徹底が、結果的に食中毒やノロウイルス感染を減少させたのです。

手洗いは、石けんを泡立てて、手のひら、手の甲、指先、爪の間、指の間、手

首まで十分に洗ってから流水でしっかりと洗い流し、清潔なタオルまたはペーパータオルでふく、という作業を30～40秒かけて行います。家族内にノロウイルス感染者が発生した場合、便や嘔吐物の中には大量のウイルスが含まれているので、手袋とマスクをして処理する必要があります。おむつやふき取りに使った雑巾などはビニール袋に密閉して廃棄し、処理後はしっかりと手洗いをしてください。汚れた床やカーペット、着衣などは洗浄前に消毒してください。濡れた床やカーペットをそのままにすると、乾燥してほこりとともにウイルスを口や鼻から吸い込むことで感染します。消毒用エタノールや逆性石けんでは効き目がないので、市販の塩素系の漂白剤を100～250倍程度に薄めて使用してください。ただし、漂白剤を手指消毒には決して使わないでください。

## 図書館的話題・図書選び方

大学図書館では、年間3,000冊程度の新刊書が入りますが「蔵書構築指針」に基づき授業・研究用の図書が最優先となります。選書は教員からの要望で購入するものが多いのですが、図書館員も常に専門雑誌の新刊案内などを参考に学生に新しい情報を提供しています。

大学図書館とはいえ、硬い図書ばかりではなく「お仕事系マンガ」など人気があるものも取り入れています。また「選書ツアー」を行い、学生の皆さんが書店で直接選んでいます。学生が選んだ本はやはり貸出率も高いですし、学生自作のポップ（紹介カード）も効果大です。



## 大学図書館にはこんな図書があります

～感染症に関する図書～

- 『はじめの一步 イラスト感染症・微生物学』 本田武司 羊土社
- 『人類対インフルエンザ』 トム・クイン 朝日新聞出版
- 『ダチョウの卵で、人類を救います』 塚本康浩 小学館
- 雑誌『ふれあいケア』(12月号) 特集「感染症発生！職場はどう動く？」

- 詳しい利用案内は名寄市立大学のホームページでご確認ください。(大学ホームページ>付属機関>図書館)
- 問い合わせ：本館 ☎ 01654②4199 [内線3114] (ダイヤル)
- 分館 ☎ 01654②4199 [内線2200]